

辺野古土砂北九州

発行…2025 年 9 月号・No.64



今年 30 回目となる「平和のための戦争展」。当会では今年のテーマを「日常の隣で進む戦争の準備」とし、北九州ですすむ戦争への動きを紹介しました。「戦争展」がテレビニュースで紹介されたこともあり、実行委員会が用意した資料がなくなるほどの盛況ぶりでした。

《目次》

- 【オスプレイ】ついに九州での訓練飛行が始まった(宗吉信)…………… 3 ページ
- 【オスプレイ・築城基地】馴れるな・あきらめるな(宗晶子)…………… 5 ページ
- 【市民恫喝その他】黙っているのはモノ言えぬ社会に(八記久美子)…………… 7 ページ
- 【連続エッセイ】「犯罪者」はどっち？(浦島悦子)…………… 11 ページ

写真…宗晶子・宗吉信・八記久美子(敬称略)



発行 「辺野古土砂ストップ北九州」

岸田政権が、「安保3文書」を閣議決定したのは2022年12月。当時の会報を見ると、「11月15日、熊本の陸上自衛隊を出た「16式戦闘車(MCV)」は、高速道路を博多経由で自力走行し築城基地に到着。築城基地から自衛隊の輸送機で与那国島に移動し、公道を走行するという既成事実を作った」と、表紙にあります。それ以降、会報では戦争準備の記事が増えはじめ、実社会でも、戦争への準備は恐ろしい勢いで進んでいます。



*

今月号は、二つのテーマで編集をしました。一つは、千葉から佐賀駐屯地に移駐してきたオスプレイのこと。あっという間に移駐が終わるのかと思いきや、恐ろしく遅れてやってきた2機のオスプレイ…。築城の仲間にも、原稿を寄せてもらいました。

もう一つは、「自衛隊司令が市民恫喝(宮古島)」、「芥川作家へのいわれのない家宅捜査(キャンプ・シュワブ)」、「安和栈橋事故の被害者を加害者扱い(名護市)」など、市民に対する国の異常な対応を、浦島悦子さんにも「連続エッセイ」で触れていただき、一つの特集にしました。お読みいただくと幸いです。



すごい…



2025.8.30 付/西日本新聞より

ついに九州で、オスプレイ飛行訓練が始まった

木更津からの飛行を見ても分かる、オスプレイの異常

上空飛行だけでなくタッチ&ゴーも

世話人 宗吉 信

■はじめに

先月(8月)号で、千葉県木更津駐屯地に暫定配備されていた陸上自衛隊オスプレイの最初の1機が、7月9日に佐賀駐屯地に飛来した時のことや、その後飛行訓練が始まったことを報告させていただきました。今回は、更にその後のオスプレイの動きや、佐賀での反対・抗議行動の今後について報告します。

■16機目、佐賀にたどり着くのに2日かかった理由

前回の報告で、7月中に15機、8月4日に最後の2機が飛来する予定と記していました。ところがその2機が問題を抱えていたようです。大体、7月28日までに着々と15機が飛来したのに、2機だけ1週間遅れというのも、今考えれば不思議です。

まず、8月1日に防衛省から佐賀市議会に「8月4日以降に準備が整い次第移駐する」との連絡が入りました。それも直行ではなく、三重県の明野駐屯地、徳島の北徳島分屯地を経由して来るとのこと。8月5日に16機目が木更津を出発し、予定通り明野駐屯地に着陸します。でも、飛び立ったのは翌日。北徳島分屯地を経由し、午前中に佐賀駐屯地に到着します。

実はこれが昨年10月に与那国島で事故を起こした機体だったのです。輸送費も含めて、修理に7億円以上かけているのですが、木更津から佐賀まで来るのに直行できず、足掛け2日かかっているのです。関連装備を含めて1機あたり212億円かかっているのに、こんな状態では戦闘どころか、災害救助にも使えないでしょう…。

■17機目、警告ランプで木更津に逆戻りも

さらに17機目。やっぱり問題があるのでしょう。木更津を飛び立ったのは、8月9日。でも、すぐに警告ランプが点いて木更津に引き返します。飛んだのは鎌倉辺りまで。10日、11日は大雨で飛べず、12日午後にやっと佐賀に着きました。ここからは推測ですが、16機目、17機目が他の機体よりずっと遅れて移駐したのは、機体に問題がある。でも木更津に置いておくのは約束違反になるから、とにかく佐賀へ持ってきた、ということでしょう。搭乗する隊員も命がけですね。

■長崎・佐賀・福岡・鹿児島・熊本でも離着陸

8月20日以降オスプレイの訓練飛行は、どんどん範囲を広めています。最初は各地上空を飛ぶだけでしたが、今はタッチ&ゴーもするようになりました。すでに長崎県大村市の竹松駐屯地、佐世保市の相浦駐屯地、佐賀県吉野ヶ里町の目達原駐屯地、福岡県

芦屋基地・築城基地、鹿児島県鹿屋基地、そして熊本県の大矢野原演習場でも離着陸しています。

離着陸の際にはホバリングしながら、地面すれすれに浮いた状態で方向転換を繰り返す訓練もしています（8月26日現在）。今後も、大分県の日出生台演習場、十文字原演習場他で、計画されています。9月11日～25日の日米共同演習レゾリュート・ドラゴン25では、日出生台演習場で2機が参加する予定です。おそらく他の演習場にも参加するでしょう。夜間飛行訓練が始まる時期は、まだ検討中とのことです。

■抗議続ける佐賀の仲間たち

佐賀の抗議行動は、オスプレイ移駐後も続いています。7月28日（月）の訓練開始の日に駐屯地正門前での抗議。8月8日（金）、駐屯地用地の地権者4人と支援する市民240人が原告の裁判公判。17日（日）の正門前抗議集会には48人が集まりました。20日は、隊員が出勤してくる時間に合わせた早朝抗議行動。今後も9月1日（月）、福岡高等裁判所で住民訴訟控訴審。9月7日（日）の駐屯地開所式でも抗議行動が予定されています。

おそらく月1度の正門前集会（原則休日）、早朝の抗議行動（平日）は今後も続くでしょうし、4種類の裁判も続きます。決してあきらめません。（むねよしまこと）

8月17日の佐賀駐屯地正門前集会の様子



太い線は、オスプレイの飛んだ跡。佐賀→築城→芦屋→鹿屋に向かう途中

下…格納庫から出て待機しているオスプレイ。この後すぐ飛び立ちました。右…飛び立ったオスプレイ。



2014 年以降、何度か築城基地に飛来予定があったオスプレイ

馴れるな、あきらめるな

「築城基地の米軍基地化を許さない！京築住民会議」 事務局長 宗 晶子

■築城基地周辺を飛行するオスプレイを確認

2025 年 8 月 12 日、空自築城基地隣接自治体の行橋市 HP に「防衛省九州防衛局から次のとおり情報提供がありましたので、お知らせいたします」と掲載があった。内容は以下の通り

- ・7 月 9 日に佐賀駐屯地が開設し、順次 V-22 オスプレイが飛来していましたが、8 月 12 日をもって木更津駐屯地に暫定配備されていた全 17 機の移駐が完了しました。
- ・7 月 28 日から、佐賀駐屯地周辺における基本操縦訓練等を開始しており、8 月 5 日から、佐賀駐屯地以外の飛行場などへの飛行を実施しているところです。
- ・今後、8 月 18 日以降、目達原駐屯地ほか 5 施設（築城基地含む）への飛行訓練を計画しております。

以降、8 月 21 日と 26 日に、基地周辺上空を飛行する佐賀県配備の陸自輸送機オスプレイが確認されている。我々、「築城基地の米軍基地化を許さない！京築住民会議」は、防衛省宛、抗議の申入書を送付した。

■操縦士の能力向上・保持のために…住民の頭の上で訓練

5 か月前の 3 月 19 日に、防衛省より関係自治体に「3 月 26 日に木更津のオスプレイ 1～2 機が長崎の大村-築城-芦屋一大村のコースを飛行、28 日に木更津に帰還する」との通知。目的は「様々な飛行場、演習場等における飛行を通じて、操縦士等の技能を向上させること」「オスプレイによる空中稼働を遂行し得る能力を保持するため、物資等の輸送を想定した各地域への飛行・降着・離陸・地上に所在する関係部隊等との調整を実施するもの」であった。

飛来する時間は自治体に対しても最後まで通知しなかった。訓練前日「築城基地の米軍基地化を許さない！京築住民会議」は、築城基地に抗議申入れを行った。オスプレイ飛来当日には、40 名以上の参加で抗議行動を実施した。黄砂がひどく視界不良な中、10 時半過ぎに西方向からぼんやりと機影が見え、滑走路に向かって降りて来たと思ったら、そのまま浮上して海の方へ去って行くタッチ&ゴーであった。オスプレイが去った後、抗議集会とシュプレヒコールを行った。

■築城基地への初めての飛来は 2018 年

築城基地に米軍オスプレイが初めて飛来したのは、2018 年 12 月 12 日 20 時頃、翌日 11 時 54 分に出発した。陸上自衛隊と在沖縄米海兵隊による日米共同訓練の一環であつ

た。

実は、11年前の2014年2月7日にも米軍オスプレイ飛来し、日米共同統合防災訓練が行われる予定であった。当日は九州北部が悪天候となり、在沖米海兵隊が「天候不良」「視界不良」を理由に参加を取り止めた。オスプレイの築城飛来も中止となった。

また、2024年11月24日の『航空自衛隊 築城基地航空祭2024』では、陸上自衛隊V-22オスプレイが航空機地上展示予定であったが中止となった。

11年前からの築城基地オスプレイ飛来の目的は、私たちにオスプレイ飛来を馴れさせることではないだろうか。今年3月は、芦屋基地前でも抗議行動が行なわれた。大変心強く励まされた。これからも連携し運動を進め、どこの空にも危険なオスプレイを飛行させないことを実現したい。(そうあきこ)



上下…3月26日10時半ころ、長崎の大村航空基地から築城基地に飛んできたオスプレイは、タッチ&ゴーで芦屋基地に飛び立った。オスプレイが去った後、抗議集会とシュプレヒコールが行われた。



- ・宮古島駐屯地司令が「市民恫喝」
- ・沖縄県警は、正当な抗議行動の目取真俊さん宅を「家宅捜査」
- ・安和栈橋事故の被害者を「加害者扱い」

抗議行動は憲法に定められた「表現の自由」に基づく行為

黙っていてはモ/言えぬ社会に

世話人 八記久美子

■「許可取れ、早く取ってこい」と市民を恫喝

最近、びっくりするようなことが、立て続けに起こりました。その一つ自衛隊司令による「市民恫喝」事件は、8月6日早朝、前日から行われていた宮古島駐屯地の新隊員の行軍訓練で、一行が「海の駅」の駐車場で休憩した時に起こりました。

監視をしていた70代の女性が、拡声器で静かに、「戦闘服姿の向こうに、こんなきれいな朝日を見るのは、とても残念です」と語りかけたところ、司令がつめより恫喝した…と言う出来事です。内容は、次ページの新聞記事を読んでもいただけるとわかりますし、一緒にいたメンバーが、その時の様子を動画に撮っていますので、女性が普通に語りかけたことや、司令の怒鳴り声を聞くことが出来ます。

当会では、抗議の声を上げなければ、いずれ市民が声を上げられなくなる日が来ると、監視行動の女性を恫喝した司令や防衛大臣など4者に、抗議文を送りました。ちなみに、この件での司令の処分はなく、「指導」のみとなりました。

■浦島悦子さんのエッセイにも、取り上げてもらいました

そうこうしていると、昨年の6月に安和栈橋での死傷事故で、大けがを負った抗議行動中の被害者の女性が、重過失致死容疑の被疑者として県警の事情聴取を受けたこと、書類送検されるとのニュースを知りました。

また、連続エッセイを書いていた浦島悦子さんから、キャンプシュワブの柵を壊したと、芥川賞作家の目取真(めどるま)俊さんが、家宅捜査を受けた事を聞きました。

目取真俊さんは、市民団体と沖縄防衛局を訪れ、「フェンスが破損した原因は沖縄防衛局の管理体制にある」と主張。「警察の捜査は作家活動などを妨害するものだ」と批判しました。目取真さんは「経年劣化が酷い。もうボロボロの状態。潮風でサビるし、紫外線でネットもボロボロになってしまうし、壊す壊さない以前に、もうすでに壊れている状態なんですね」と話しています。

権力者に対し、ものが言えない社会にしないために、まずは会報で、多くの方にこれらの事実をお知らせしたいと思い、記事を集めてみました。また、浦島悦子さんのエッセイでも、急遽このことを取り上げていただきました。(やつきくみこ)

謝罪・撤回なし 放置できない

訓練監視に陸自隊長 市民を恫喝

陸上自衛隊宮古島駐屯地（沖縄県宮古島市）司令が訓練を監視していた市民を恫喝（どくわ）した問題で、当事者の司令や自衛隊側から真摯（しんし）な謝罪は行われていません。恫喝を受けた市民団体「ミサイル基地いらない宮古島住民連絡会」は、「うやむやにはさせない」と抗議を続けています。実力組織の自衛隊が力を背景に国民を威圧し、憲法に保障された表現の自由を侵害することをまかり通らせてはならないとの思いからです。

沖縄・宮古島

民連絡会がこのとき現場を撮影した動画には一部始終が収められています。

静かに呼びかけ

恫喝があったのは6日早朝で、前日から「徒歩防災訓練」と称し、同市の公道を新隊員らが「行軍」する訓練が実施されていました。訓練は3年連続で行われ、住民連絡会は迷彩服姿の自衛隊が公道で常習的に訓練を実施するような事態を懸念して、そのつと抗議してきました。

当日、住民連絡会の2人が訓練監視のため「いらぶ大橋海の駅」に到着。約20人の隊員が駐車場に姿を見せ、休憩に入りました。住

日常が軍事に染まることへの批判黙らせる狙いか

くしたてました。「違う。許可、われわれは取ってやってる」「許可取れ早く、取ってこい」

7日、住民連絡会は海の駅と駐車場をそれぞれ管理する宮古島市と県へ確認しましたが、許可は必要ないとの返答でした。

そのため住民連絡会は9日、抗議と公開質問の文書を提出。許可など不要にもかかわらず、事実上反して恫喝を行った比嘉隊長らに対し、発言の撤回と謝罪を求めました。

ところが19日に住民連絡会の共同代表と面談した比嘉隊長は、あくまで恫喝の

事実を認めない態度に終始しました。

「私の行動が威圧的だととらえられたのであれば、それは私の本意ではなく、そのことについては申し訳ございませんでした。受け手のとらえ方の問題にすり替えたのです。その上で、周辺施設への迷惑などを口実に、「拡声器を用いた活動をやめていただきたい」と正当化しました。

しかし、清水さんは静かに呼びかけたにすぎないことは動画でも明らかです。また、仮に拡声器使用の自衛隊を求めたのが本意だった

としても、比嘉隊長は拡声器への言及を一切していません。「許可を取れ」の一点張りでした。面談でそのことを指摘された比嘉隊長は「上級部隊を含め詳細な事実関係を確認しているところでお答えできない」と繰り返すだけでした。

旧日本軍想起も

同市では、沖縄の戦場化を想定した軍備拡大が強行されています。恫喝は、自衛隊の活動拡大で島の日常が軍事に染まることへの批判的な声を黙らせる狙いだった可能性もあります。沖縄戦で住民への加害を働いた旧日本軍を想起させるこの声も出ています。

面談後、清水さんは比嘉隊長の言動に誠意が感じられなかったとし、まともな謝罪と発言の撤回がないまま、問題を放置するわけにはいかないと語りました。「こういうことをうやむやにすると、全国でも自衛隊が住民に居丈高にものを言い、恫喝することが当たり前になっていく」



市民（左）を恫喝する比嘉隊長（右）。沖縄県宮古島市（ミサイル基地）に近い宮古島住民連絡会提供



比嘉隊長（左端）との面談で、恫喝に対する抗議と公開質問の文書を直接手渡す清水さん（右から3人目）。11月1日、陸自宮古島駐屯地



動画はQRコードから視聴できます

目取真俊さん宅を搜索

米軍普天間飛行場移設に伴う名護市辺野古の新基地建設の関連工事の監視活動中にフェンスなどを壊した疑いがあるとして、県警が器物損壊容疑で芥川賞作家の目取真俊さんの自宅を家宅搜索したことが9日、分かった。関係者によると、県警の家宅搜索は7日に行われ、パソコンやスマートフォン、衣類を押収した。

関係者によると、2024年10月から25年5月の間の3回の行為に容疑が掛けられている。目取真さんが新基地建設に伴う美謝川の切り替え工事を撮影するため付近にある沖縄防衛局が設置したフェンスに手を掛けた

県警、辺野古フェンス損壊疑い 弁護士「経年劣化で壊れた」

際、フェンスなどが破損したという。

相談を受けた弁護士は「フェンス自体の経年劣化が著しく、体重を少し掛けただけで壊れた状況だ。あえて壊そうとしない」と器物損壊には当たらず、事件として成立するか疑問だ」と指摘した。

目取真さんは外部との連絡手段がなくなり、公衆電話の使用を余儀なくされるなど日常生活に支障を来していると訴えているとし、「事件化も微妙なこのような事案で、パソコンやスマホを取り上げるのもやり過ぎではないか」と県警の対応を批判した。

「県民どう喝だ」 ヘリ基地反対協議

県警が器物損壊容疑で目取真俊さんの自宅を家宅搜索したことを受けて、ヘリ基地反対協議会は9日、抗議声明を発表した。「新基地建設に反対する県民へのどう喝であり、運動の萎縮を狙ったものであることは明白だ」として、被害届を出したとみられる沖縄防衛局や県警を批判した。

琉球新報
8月10日号から

安和事故における被害者を、加害者扱いすることに撤回を求め声明を発表した、オール沖縄会議のメンバーら



「辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議」は8月8日、名護市の安和栈橋前で昨年6月に起きた死傷事故で、抗議活動中に重傷を負った女性を、県警が被疑者として扱うことに撤回を求める声明を発表した。女性らは8月6日と8日の2回、重過失致死容疑の被疑者として県警の事情聴取を受けたという。

この文章を読むと、事故の背景が分かります

《オール沖縄会議の声明文の一部から》

…市民らが、入口・出口前をゆっくりと歩く抗議行動もすでに5年半になる。長い行動の中で、出口部では、警備会社・事業者・抗議者の間で、「抗議者が出口前を片道を歩いたらダンプを1台出す」、「右側、左側とダンプを交互に出し、同じ側から2台連続して出さない」、「抗議者はダンプ運転手に手をあげて合図をしてから歩き始める」等の「暗黙のルール」ができていた。

抗議行動は安全に配慮して行われてきたので、これまで大きな事故も起こらなかった。「警察関係者によると、抗議行動そのものの過熱や特に大きなトラブルの情報はなかった」(RBCニュース 2024.6.28)と言われているように、現場は危険な状態でもなかったのも、日常的に警察官も配置されていなかった。

しかし一昨年末、警備会社が変わり、今年2月頃から工事の元請業者が変わったためか、ダンプの誘導方法が強引になり、「2台出し」や、抗議者が渡り終えていないうちに見切り発車のようにダンプを出すなど、危険な状態が発生するようになった。今年1月から3月にかけて、栈橋出口の国道で、ダンプと一般車両の交通事故が4件、立て続けに起こっていることも、ダンプの出し方が強引になったことと無関係ではないと思われる。

こうした危険な状態については、ダンプトラックの運転手も指摘しているとおりである(「(ダンプの運転手の話では)1年ほど前に警備会社が変わり、土砂搬入のスピードアップを図って無理な誘導が増えていた。いわゆるヒヤリハット事例が何度もあった」、「工期のスピードアップの指示が上からあったようで、危ない事案が増えた」(RBC ニュース 2024.6.28))

また、安和栈橋の入口部でも、以前は本部側から右折して入るだけだったが、搬送量を増やすために、ダンプをわざわざ名護市街地まで通過させてから戻ってきて左折で入場させる、また旧道の方から直進させる等、3方向からダンプを入れるようになった。そのため、入口部が混雑して危険な状態となり、事故も何回か発生している。

防衛局が辺野古新基地建設事業の工事を急ぐために、安全管理を怠り、埋立土砂を搬送するダンプの回転を速めようとしたことが今回の事故の背景ではないだろうか。…

「犯罪者」はどっち・・・？

ヘリ基地いらない二見以北十区の会共同代表／フリーライター



8月7日、明暗2つの出来事があった。

「明」の方は、「知事の(設計変更)不承認を支持する住民の訴訟」第13回口頭弁論で那覇地裁の片瀬亮裁判長が、原告適格を認め、次回から、原告の訴えの中身(＝知事の不承認を取り消した国の裁決が適法か否か)の審理に入ると明言したこと。沖縄県が国を訴えた訴訟はすべて門前払いされ、新基地建設を巡る訴訟で中身の審理に入るのは初めてだ。先行する埋立承認撤回を巡る住民の訴訟が「原告適格」についての最高裁判決を待っている中で、独自の判断を示した地裁の裁判長の英断に拍手を送りたい。

「暗」の方は、芥川賞作家・目取真俊さん宅が家宅搜索されたこと。器物(キャンプシュワブの基地フェンス)損壊容疑だという。容疑とは関係のないパソコン、スマホ、Wi-Fi ルーター、衣類が押収された(約1週間後の事情聴取の際に返還)。ブログで精力的に新基地建設工事の状況や反対運動(彼はヘリ基地反対協海上行動チームの一員でもある)について発信している目取真さんへの嫌がらせ弾圧以外の何物でもない。

目取真さんが「損壊」したというフェンスを地元住民が確認した。写真を見ると、経年劣化によりフェンスの鉄パイプは錆

び、ネットは破れて垂れさがっている。自分たちの管理不行き届きを、目取真さんに責任転嫁するでっち上げとしか言いようがない。

これは、昨年6月の安和栈橋死傷事故で重傷を負った女性(被害者)を加害者に仕立て上げようとする弾圧と軌を一にしている。生死の瀬戸際からようやく回復しつつある彼女を、こともあろうに県警が「重過失致死罪」の「被疑者」として取り調べ、起訴を求めているとの報道に、息が止まるほど驚いた。

安和ではこれ以外にも、現場の警備員や防衛局職員がわざと転んで「傷害」事件をでっち上げるなどの弾圧が頻発している。正当な抗議行動を「妨害行為」と言いつくり、国策に反対する市民に「犯罪者」のレッテルを張り、運動潰しを狙う攻撃を許すわけにはいかない。

民意を踏みにじり、法を悪用・濫用し、血税を浪費して貴重な自然を破壊している新基地建設を、私は「国家犯罪」だと言ってきた。その犯罪を止めようとする市民が「犯罪者」呼ばわりされる謂れはない。私たちがここで反対し、抵抗しなければ、戦争や自然破壊という「未来世代に対する犯罪」に加担することになるだろう。

(うらしまえつこ)

《辺野古土砂北九州・今後の予定》

- 9月03日(水)…《会報発送作業》14時～ 生涯学習総合センター・情報学習室
- 9月24日(水)…《世話人会》14時～ 生涯学習総合センター・情報学習室
- 9月27日(土)…《小倉駅前街頭宣伝》16:00～
- 10月01日(水)…《会報発送作業》14時～ 生涯学習総合センター・情報学習室
- 10月25日(土)…《小倉駅前街頭宣伝》16:00～
- 10月29日(水)…《世話人会》14時～ 生涯学習総合センター・情報学習室
- 11月08日(土)…《映画「コスタリカの奇跡」》14時～
生涯学習総合センター・3階ホール ※当会主催



「辺野古土砂ストップ北九州」への入会は

年会費(個人 1000 円・団体 3000 円)です。

カンパ熱烈大歓迎!

【辺野古土砂北九州の口座は】 ゆうちょ銀行 記号番号 01700-7-166911

【他金融機関から振り込む場合は】 ゆうちょ銀行 当座 一七九店 0166911

加入者名…「辺野古土砂ストップ北九州」

【財政・入会・退会に関するお問い合わせは】

090-4482-0043 大野保徳(財政担当)まで。

※領収書は、現金で会費をいただいた方のみお送りし、振り込みの方にはお送りしていません。ご了承下さい。



《辺野古土砂ストップ北九州》

メールアドレス…kanpanerura888k@gmail.com

〒803-0816 福岡県北九州市小倉北区金田 1-3-32-308 八記方

八記 080-1730-8895・南川 090-2853-7116・藤堂 090-6299-2608

2025 年 9 月 3 日発行